



第64回 一般財団法人 比較統合医療学会学術大会

COVID-19対策を考える

～各自で出来る対策を練ろう～

2021年

10月30日(土)・31日(日)

見逃し配信 11月5日(金)～11月19日(金)(予定)

WEB開催 (LIVE & 録画配信)

COVID-19対策を考える

～各自で出来る対策を練ろう～

WEB開催

LIVE

10月30日(土)・31日(日)

見逃し配信

11月5日(金) ▶ 19日(金) (予定)

【大会長】

鳥巢至道 (酪農学園大学)

目次

▶大会長あいさつ

「新しい風」……………	5
鳥巢至道 先生（酪農学園大学）	

▶基調講演

「新型コロナのセルフケア」……………	6
鈴木信孝 先生（日本補完代替医療学会 理事長）	
「新型コロナとワクチンの全貌」……………	8
井上正康 先生（健康科学研究所・現代適塾 塾長）	

▶教育講演

「動物とヒトのコロナウイルスー猫伝染性腹膜炎の研究者としての観点からー」……………	9
高野友美 先生（北里大学）	

▶招待講演

「新型コロナワクチン接種者からの伝播に関するアンケート調査と、伝播に対する対策と予防法」……………	11
龍見 昇 先生（NOVO クリニック）	
「新型コロナの問題点と対処法」……………	12
中村篤史 先生（ナカムラクリニック）	

▶特別講演（抄録の掲載はありません）

「子宮頸がんワクチンから新型コロナワクチンまでの流れ～これは PANDEMIC なのか？～」	
池田としえ 先生（日野市議会議員）	

▶治験報告

「犬の子宮蓄膿症の術後ルミン® A 経口投与による血液パラメーターの推移に対する治療効果の検討」……………	13
橋本昌大 先生（高草山どうぶつ病院）	

▶一般演題

1. 「With COVID-19 での取り組み方」……………	15
畑 伸秀（桜の聖母短期大学）	
2. 「電荷水飲用とレプトンガス吸入による血液学的データの変動について」……………	17
山口貴也（山口醫院）	
3. 「水素による新型コロナウイルスの蔓延防止」……………	19
木村公一（Zenphar 合同会社）	
4. 「雲南紅豆杉と光免疫誘導療法を用いたリンパ腫の猫の1例」……………	20
石井万寿美（まねき猫ホスピタル）	
5. 「ゼロから始めた普通の動物病院の鍼灸治療」……………	21
田中大介（牛久保東ペットクリニック）	
6. 「アサイゲルマニウムの生理作用と作用メカニズム」……………	22
島田康弘（株式会社浅井ゲルマニウム研究所）	
7. 「有機ゲルマニウム化合物「アサイゲルマニウム」の有用性研究の紹介 ～医薬品開発時代の知見を中心に～」……………	23
土井山爽太（株式会社浅井ゲルマニウム研究所）	
8. 「聞き手にθ波（脳波）が発現するとされる歌手の歌声の実際の脳波変動に関する考察」……………	24
山口貴也（山口醫院）	
9. 「新型コロナウイルスワクチン接種者が与える非接種者への影響」……………	26
小林敏生（Binsei Natural Healing）	
10. 「高濃度オゾン水を利用した鼻腔洗浄による、味覚・嗅覚神経細胞保護の臨床的検討」……………	28
鈴木宏典（株式会社サイエンティフィックケアマネジメント）	
11. 「露地栽培アガリクス KA21 含有食品の創傷治癒促進作用・抗がん剤の副作用軽減作用に対するアンケート結果」……………	29
北原淳子（東栄新薬株式会社）	
12. 「露地栽培アガリクス KA21 の真菌感染症に罹患したイヌ、ネコに対する臨床試験結果」……………	30
元井章智（東栄新薬株式会社）	

協賛企業一覧……………	31
-------------	----

新しい風

大会長 鳥巢至道

酪農学園大学

第64回の大会長を務めさせていただく、酪農学園大学の鳥巢至道です。何故私が大会長？と思っておられる先生方も多いと思います。そこで私について少しお話しします。今年度の4月に宮崎大学から酪農学園大学の伴侶動物外科の教授として赴任しました。専門は、小動物の消化器外科・内科です。これまで、数多くの消化器疾患を治療してきましたが、酪農学園大学に移動してからは、腫瘍科主任として腫瘍外科も数多く治療しています。このように基本的に私の治療は、西洋医学が中心です。しかし、私の恩師は鷺巣誠先生であり、恩師が東洋医学を外科症例にうまく織り交ぜた統合的な治療を行っていた関係で、私も漢方やオゾン療法、水素療法、光療法など様々な治療を組み合わせた統合的な治療を行っています。現に酪農学園大学では今までそのような治療を行っていませんでしたが、この半年で数多くの症例で漢方やオゾン療法、光治療などを導入し統合医療を若い先生方に経験してもらっています。今回、理事長である安川先生からこの伝統ある比較統合医療学会に新しい風を吹かせてほしいという依頼もあり、若輩者ではありますが新しい風を吹かせるために大会長をお引き受けしました。精一杯頑張っ、本学会を盛り上げていきたいと思っています。

さて、第64回学術大会のテーマはCOVID-19と致します。

2019年に中国の武漢で広がりを見せた新型コロナウイルスは、瞬く間に全世界に広がり、我々が経験したことの無い事態を引き起こしています。全世界でロックダウンなどの対策が行われ、日本でも蔓延防止措置（いわゆるマンボウ）や緊急事態宣言が全国的に発動され、我々の生活が一変しました。そもそもコロナウイルスは、種特異性が高く、例えば、猫のコロナウイルスが人や犬に感染することはないと言われていましたが、新型コロナウイルスとなってからは、種を超えて感染するといわれています。また感染様式もクラスターという新しい概念の感染様式で、爆発的に感染が広がることがわかっています。現在、世界的にCOVID-19に対するワクチン開発が行われ、すでに多くの方がワクチン接種を行っています。このワクチン接種に異議を唱える科学者も数多くいますが、ワクチン接種は政治的な働きかけもあり、世界的に接種が行われています。我々は、正しい情報を整理できないまま、ワクチンを接種していないとwithコロナ時代に日常生活を送ることができない世の中になる可能性もあります。以上のことから、本大会では、COVID-19を特集し、我々獣医師が猫のFIPで経験する抗体依存性感染増強がCOVID-19でも認められるのか？新型コロナウイルスのワクチンは、本当に安全なのか？など我々の中でもモヤモヤした疑問に関して専門の先生方に詳しく解説いただく予定です。基調講演や招待講演をお願いした先生方の講演を聞いて、今一度正しい知識を整理していただければと思います。

本学術大会は極めて学術的充実度の高い大会とすべく、関係各位が努力して学会を作り上げてもらいました。多くの方々の御参加を頂き、活発なディスカッションを行い、明日からの診療や生活に役立てていただければ幸いです。

令和3年10月吉日

新型コロナのセルフケア

鈴木信孝

Nobutaka SUZUKI

日本補完代替医療学会 理事長

COVID-19（以下コロナ）が発症してから24時間以内にセルフケアを開始することは極めて重要であり、補完代替医療学的アプローチには、大きな注目と期待が寄せられている。比較統合医療学会と補完代替医療学会は様々な天然物の抗コロナ作用を共同研究しているが¹⁾、今回は天然物を応用したコロナの予防や後遺症対策について詳細に述べる。天然物の機能性成分を選択する上で有力視されているのが、近年、創薬分野でも活躍している分子ドッキング法である。分子ドッキング法とは、たとえばSARS-CoV-2ウイルス粒子や宿主受容体の標的分子と候補になる成分分子（リガンド）の結合性を理論と計算によって予測する手法である。

これまでの分子ドッキング法の報告によれば、抗コロナウイルスの食品成分として、例えばグレープフルーツ種子エキス（grapefruit seed extract：GSE）や緑茶のエピガロカテキンガレート（EGCG）モノエステル²⁾を筆頭に、紅茶のテアフラビン、ウーロン茶のウーロンホモビスフラバン-A、そばや柑橘類のルチン、ダイダイやミカン果皮のヘスペリジン、大豆イソフラボン（ダイゼイン、ゲニステイン）、ニンニクのアリイン・アリルジスルフィド・メチルアリルトリスルフィド、クルミのミリセチンのほか、演者が研究しているハトムギ全粒熱水抽出エキス（ハトムギCRDエキス）の主要な成分であるケルセチン、ナリンゲニン、クロロゲン酸、p-クマリン酸、カフェ酸、フェルラ酸、ルテオリン等も有望視される。一方、生薬では、グリチルリチン酸を筆頭に、黄芩の成分であるバイカリン、銀翹散の成分 yinqiaosan が有望である。

さらに本講演では、より実践的な試みのいくつか

も紹介する。まず、コロナは上気道～肺が最も侵襲を受けやすい部位であるので、当該部位への直達治療としてGSEやEGCGを用いた有人空間噴霧法を紹介する。また、生ニンニクの揮発性成分（アリイン、アリシン）やワサビ揮発性成分（アリルイソチオシアネート）を用いた方法も紹介したい。一方、コロナは腸上皮や血管内皮細胞にも感染することが知られているので、漢方薬の内服（玉屏風散）³⁾やエボキシリオニレシノールを有用成分とする日本の梅干し摂取の意義についても考察する。また、セルフメディケーションとしてイベルメクチン等の意義についても言及する。最後に、コロナのセルフケアを行う際、最低限これだけはそろえておきたい物品、例えば抗原検査キットなどについても解説する。なお、後遺症である嗅覚・味覚障害に対するジャワしょうが⁴⁾の可能性についても言及する。

なお、より詳細なセルフケアについては著書「～わたしはこう考えている～ コロナの補完代替医療」⁵⁾に詳しいので参照いただきたい。また、医師・歯科医師・獣医師向けに「コロナ塾」も開催しているので視聴していただければと思う⁶⁾。さらに、facebookでコロナの最新情報の発信も随時行っているをご覧ください⁷⁾。

参考資料

- 1) 鈴木信孝, 安川明男. 新型コロナウイルスの補完代替医療—補完代替領域の観察研究—. 日本補完代替医療学会誌. 2020;17 (1) :95-98.
- 2) Kaihatsu K, Yamabe M, Ebara Y. Antiviral mechanism of action of epigallocatechin-3-O-gallate and its fatty acid esters. Molecules. 2018;23 (10) .
- 3) 鈴木信孝. 玉屏風散を使用した新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の1 例. 日本補完代替医療学会誌.

2020;17 (1) :93-94.

- 4) 鈴木信孝. ジャワしょうがバングレ. 日本補完代替医療学会誌. 2019;16 (1) :1-6.
- 5) 鈴木信孝. ～わたしはこう考えている～ コロナの補完代替医療 (NPO 法人 代替医療科学研究センター発刊).

- 6) you tube: コロナ禍を生きる－私はこう考えている－第6話、<https://youtu.be/KxFWOEXfTQk>
- 7) <https://www.facebook.com/n.suzuki.naoto>

新型コロナとワクチンの全貌

井上正康

Masayasu INOUE

健康科学研究所・現代適塾 塾長

私は大学院生時代に恩師・妹尾左知丸教授から「安全なワクチンを作れ」とのテーマを頂き、感染論や生体防御機構の研究を始めた。その後、遺伝子工学の飛躍的進歩で多様な抗原蛋白を自由に大量生産可能となり、古典的なワクチン開発時代が幕を閉じた。その後は研究も生体防御論や活性酸素の分野にシフトしていった。そして昨年、半世紀ぶりにワクチンの問題に再会し、当初は「短期間で様々な抗原分子をデザイン可能なことから、ワクチン学に新時代が始まった」と感心した。しかし、以前より獣医学分野ではコロナウイルスのワクチン開発は抗体依存性感染増強(ADE)が起こることから無理と考えられていた。今回の遺伝子ワクチンも安全性や副反応では不明な点が多く、慎重に対応する必要があると考えて様々な情報を収集した。

その結果、ファイザー社のmRNA ワクチンは有効性と安全性が2023年5月まで不明な『第四相臨床試験薬』であり、アストラゼネカ社のDNA ワクチンは体内に組み込まれて半永久的に作用するので極

めて慎重な対応が必要である事が判明した。最新の情報で、①新型コロナの本質が血栓症であり、②スパイクが血管細胞を障害して血栓を作る毒である事(米国ソーック研究所 & Circ Res)、③接種後早期死因の多くが血栓症や循環系障害である事、④肝脾骨髄に加え、副腎や卵巣にも集積する事(厚労省&ファイザー社)、⑤スパイク抗体は短寿命で再感染防止効果が低いが、自然感染による免疫記憶は重症化を抑制する事、⑥大半の医師はこの事実を知らずに良かれと信じて接種している事、⑦接種後に重篤副反応や死者が激増している安全性不明の遺伝子ワクチンを感染リスクの無い健康な子供や生殖世代に接種しようとしている事が判明した。マトモな感染症学や免疫学の教育を受けた医師であれば、このような危険は犯さないはずである。そもそもワクチン接種は義務ではなく、個人の意志で決めるものである。しかし、国内外でワクチンに関して多くの同調圧や意見対立が深刻化している。本研究会では先生方の活発な議論をお願いし、若い世代の生命を守る活動をお願いしたい。

動物とヒトのコロナウイルス ー猫伝染性腹膜炎の研究者としての観点からー

高野友美

Tomomi TAKANO

北里大学 獣医学部

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行（パンデミック）は、私たちの健康を脅かすとともに、社会活動および経済活動にも大きな打撃を与えました。そのような状況において「コロナウイルス」という専門用語が世間一般に認知されるようになりました。コロナウイルス感染症はヒトを含めた動物（哺乳類および鳥類）で報告されています。ヒトのコロナウイルス感染症は、今回の新型コロナウイルス感染症のように呼吸器症状を主徴としています。一方、ヒト以外の動物では呼吸器症状を主徴とするもの（例：鶏伝染性気管支炎、犬呼吸器コロナウイルス感染症）と消化器症状を主徴とするもの（例：豚流行性下痢、犬コロナウイルス感染症）が存在します。また、牛コロナウイルス感染症のように、呼吸器症状と消化器症状の両方を呈するものもあります。さらに、致死的な全身性疾患をおこすもの（例：猫伝染性腹膜炎、FRSCV 関連疾患）も存在します。

私は伴侶動物のコロナウイルス感染症、特に猫伝染性腹膜炎を専門として研究活動を続けております。本感染症は50年以上前に報告されて以来、病態の解明やワクチンの開発を目的として様々な研究が行われてきました。現在、猫伝染性腹膜炎の発症予防に有効なワクチンは実用化されておられません。この事実、犬・牛・豚・鶏においてコロナウイルス感染症のワクチンが使用されていることを踏まえると不可解に感じるかもしれません。猫伝染性腹膜炎に対するワクチンが実用化されていない理由の一つとして抗体依存性感染増強（ADE）という現象があります。私たちの研究室では、猫伝染性腹膜炎ウイルスに対する中和抗体がマクロファージへのウイ

ルス感染を促進することを報告しました（Hohdatsu et al., 1991. Microbiol Immunol 37: 499-504）。また、実際に猫において猫伝染性腹膜炎のADEが起ることを確認しました（Takano et al., 2008. J Vet Med Sci 70:1315-1321）。2021年10月10日現在、（細胞や代替動物ではなく）宿主においてADEが確認されているコロナウイルス感染症は猫伝染性腹膜炎のみです。猫伝染性腹膜炎のADEは中和抗体が関与するという事を考慮すると、猫伝染性腹膜炎のワクチン開発は不可能と考えたほうが良いのでしょうか？実は、過去に猫伝染性腹膜炎の発症予防に対して有効性を示した2つのワクチン（遺伝子組換えウイルスおよびバキュロウイルス組換えタンパク質）が存在します。これらを踏まえると、猫伝染性腹膜炎のワクチン開発は不可能ではないと考えられます。

猫伝染性腹膜炎は動物のコロナウイルス感染症で唯一、治療薬の開発も積極的に進められています。これまで開発された薬剤の中で猫伝染性腹膜炎に対して最も高い治療効果を示したものはGS-441524と呼ばれる核酸アナログです。この薬剤は新型コロナウイルス感染症の治療に用いられているレムデシビルの代謝活性型です。もう一つ、猫伝染性腹膜炎に対して高い治療効果を示す薬剤としてGC-376があります。これらの二つの薬剤が動物用医薬品として実用化された場合、猫伝染性腹膜炎を制御できるようになるでしょう。

ウイルス感染症のパンデミックを食い止める第一の解決策は、効果的なワクチンおよび治療薬の開発です。新型コロナウイルス感染症においてもワクチンおよび治療薬の開発が迅速に行われるとともに、

これらの一部では一定の効果が得られています。今回、新型コロナウイルス感染症で培われた知識・技

術が猫伝染性腹膜炎にも転用されることを強く期待しております。

新型コロナワクチン接種者からの伝播に関するアンケート調査と、 伝播に対する対策と予防法

龍見 昇

Noboru TATSUMI

NOVOクリニック

国内の新型コロナワクチンの2回接種完了者も60%を超え、ワクチンの副反応が問題になっているが、それとともに、未摂取者が接種者と一緒にいただけで何らかの健康被害を訴える症例が増えてきている。

このような現象は伝播 (transmission) と呼ばれているが、現時点では厚労省やマスコミからは何の情報もなく、エビデンスや論文なども見当たらない。

そこで当クリニックでは、インターネットを利用した伝播による症状に関するアンケート調査を実施した。

2021年8月22日から10月10日までに、353件の回答を得た。

回答者は、男性が57例、女性が296例。84%が女性であった。

主な症状は以下の通りであった。

全身状態

倦怠感・強烈的な眠気 (136例)、発熱 (34例)

耳鼻科系

喉の違和感・咽頭痛 (120例)、咳 (27例)。鼻血 (18例)

脳神経系

頭痛 (112例)、めまい (20例)

呼吸器系

呼吸が浅くなる (97例)、喘息 (4例)

皮膚科系

蕁麻疹・湿疹 (86例)、皮膚の痒み・痛み (54例)

消化器系

下痢 (60例)、嘔気・嘔吐 (27例)

婦人科系

不正出血・生理不順 (49例)、生理痛様の下腹部痛 (41例)

眼科系

目の痛み・しょぼしょぼ (48例)

これらの結果から、スパイク蛋白などと考えられている伝播の原因物質は、主に吸気と共に体内に侵入しているものと考えられる。

当クリニックにおいても数件の症例を経験したので試してみたところ、予防方法としては、マスクの着用と鼻腔粘膜の洗浄、そして伝播による症状にはイベルメクチンの投与が有効であった。

新型コロナの問題点と対処法

中村篤史

Atsushi NAKAMURA

ナカムラクリニック

今や道行く人は誰もマスクである。マスクなしには街を歩けないような有様になっているが、果たしてあの紙切れに一体どれほどの感染予防効果があるのか？

マスク、手洗い消毒、距離をとれ。感染症対策といわれるこうした行為について、科学的エビデンスを検証していく。

また、コロナ感染対策としてワクチンの接種が推奨されている。すでに一回以上接種者は9500万人(接種率75%)を超えた。同時に、死亡を含め数多くの接種後副反応が報告されているが、こうした副反応がマスメディアで取り上げられることはほとんどない。これらの副反応を緩和する可能性がある方法について、考えていく。

犬の子宮蓄膿症の術後ルミン[®]A経口投与による血液パラメーターの推移に対する治療効果の検討

Therapeutic effect of postoperative oral administration of LUMIN[®]A on the changes in blood parameters in dogs with pyometra

橋本昌大¹⁾, 渡辺幸孝²⁾, 佐藤賢明³⁾, 見手倉裕文⁴⁾, 有安利夫⁴⁾, 安川明男^{5) 6)}

Yoshihiro HASHIMOTO, Yukitaka WATANABE, Kenmei SATO, Hirofumi MITEKURA, Toshio ARIYASU, Akio YASUKAWA

1) 高草山どうぶつ病院 2) アニマルウェルネスセンター 3) 大分動物医療センター 4) 株式会社林原
5) 西荻動物病院 6) 上石神井動物病院

1) Takakusayama animal clinic 2) Animal Wellness Center 3) Oita Veterinary Medical Center 4) Hayashibara Co.,Ltd.
5) Nishiogi Veterinary Medical Hospital 6) Kamishakujii Animal Hospital

一般用医薬品（第3類医薬品）「錠剤ルミン[®]A」の有効成分クリプトシアニンO.A.コンプレックスの主成分であるNK-4（図1）は、生理機能を有するシアニン色素として知られている¹⁻⁴⁾。

錠剤ルミン[®]Aの薬理作用は、マクロファージの活性化（遊走能および貪食能の増強）、抗酸化（活性酸素に対する消去能）、免疫細胞の賦活化（インターフェロン γ 産生増強効果およびTh2型サイトカインのIL-4産生の選択的阻害）などが知られている。

今回、科学的なエビデンスを取得し、動物薬としての効果について評価するため、獣医師主導による臨床研究を計画した。元々ルミン[®]Aの有効成分は創傷治癒に対する効果の発見が契機となって開発されたことより、ルミン[®]A製剤の適応疾患は、急性化膿性疾患である。今回は、犬の急性化膿性疾患である子宮蓄膿症を選択した。試験は、犬の子宮蓄膿症の血液を用いて、術後ルミン[®]A製剤経口投与によるCRPおよび白血球数などの血液パラメーターの推移について治療効果を評価した。これらを明らかにする事により、急性化膿性疾患治療の観点から、ルミン[®]A製剤投与について有益な情報が得られるのではないかと推察した。

獣医師主導による試験は、外科的手術を施された子宮蓄膿症の犬に1回2錠（100 γ ）×計3回／日、2～4週間（術後）経口投与し、術後可能な範囲で採血及び写真撮影した。なお、本試験は、ルミン[®]A製剤投与群（18例）及びプラセボ（術後非投与）群（9

例）で行った。

その結果、ルミン[®]A製剤投与群では、血中CRPは非投与群に比較して統計学的有意に低下した（t検定、 $p < 0.05$ ）。また、CRPは全てのルミン[®]A製剤投与群で投与後28日目までには正常値の範囲内に回復した。白血球数は、ルミン[®]A製剤投与群では、非投与群に比較して投与後平均8日目まで有意（t検定、 $p < 0.05$ ）に減少し、投与後19日目以降正常値の範囲内に回復した。一方、非投与群では試験期間中、正常値範囲内に回復しなかった。なお、ヘモグロビン及び血小板数は、ルミン[®]A製剤投与群及び非投与群共に試験期間中、正常値の範囲内で推移し、両群に統計学的な有意差は認められなかった。

以上より、子宮蓄膿症罹患犬への手術後のルミン[®]A製剤投与は、非投与症例と比較してCRPの有意（ $p < 0.05$ ）な減少が認められた。また、白血球数においても術後8日目まで統計学的な有意差が認められたのみであったものの、非投与群と比較して早期に正常基準値範囲内に回復したことより、術後の抗炎症効果があると考えられた。

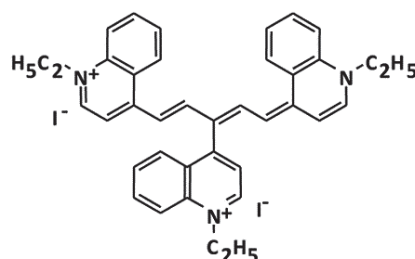


図1. NK-4の構造

- 1) Kunikata T, *et al.*, Biol. Pharm. Bull. 25(8) 1018-1021 (2002)
- 2) Koya-Miyata S, *et al.*, Biol. Pharm. Bull.33(11),1872-1877 (2010)
- 3) Kohno K, *et al.*, PLoS One.22;13(6) e0199666. (2018)
- 4) Kohno K, *et al.*, J. Inflamm.7;18(1);2(2021)

With COVID-19 での取り組み方

How to approach in with COVID-19

畑 伸秀

Nobuhide HATA

桜の聖母短期大学

Sakura no Seibo Junior College

2019年12月以降、中国湖北省武漢市を中心に発した新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルスである“SARS-CoV2”による感染症である。世界保健機構はこのウイルスによる感染症のことを“COVID-19”と名付けた。瞬く間に短期間で全世界に広がった。各国とも新型コロナウイルスの感染の拡大対応を行っている。日本の文化、生活環境から観た感染予防対策とは何かを検討した。特に本学、一般家庭、事業所の取り組みを検討した。

日本国内では、政府が、密閉、密集、密接の「3密」回避など、一人ひとりの感染防止の取り組みを求めた。私たちはCOVID-19に備えて日々の生活をどのように注意して送るべきなのか。2020年3月より講演依頼を頂き、各環境の視点では何が有効かを注目し検討した。

講演

- ① 2006年3月 桜の聖母短期大学生涯学習センター緊急企画（一般社会人向け）
- ② 2020年3月 桜の聖母短期大学生SD研修会（教職員・学生向け）
- ③ 2020年4月 福島北ロータリークラブ例会、（経営者向け）
- ④ 2020年6月 福島市産官学連携プラットフォーム、オンライン公開講座（産官学連携向け）
- ⑤ 2021年6月 桜の聖母短期大学生涯学習センター（一般家庭向け）
- ⑥ 2021年7月 公益法人福島県シルバー人材協会（高齢者向け）

2020年3月19日に桜の聖母短期大学生涯教育センター（一般社会人）の講演をはじめとして、各環境に応じた視点からこの新型コロナウイルスの特徴を述べた。COVID-19については解剖生理学のから、ウイルスが肺胞細胞である宿主細胞に感染するかを説明した。COVID-19の表面のスパイクタンパク、たんぱく分解酵素、ヌクレオカプシド（ウイルスゲノムであるRNAとそれを包むタンパク質の総称）などを解説した。変異型になり人間に感染すると、若者や基礎疾患の無い患者には、軽症者は上気道で増殖し、潜伏期間は3～4日で、無症状、軽度の熱や倦怠感、臭いや味覚異常が発症する。また初期症状の軽いまま終息する。高齢者や基礎疾患がある患者には、重症化し、呼吸困難から肺炎を発症し死に至る⁴⁾。この肺炎とは肺実質（肺胞）・肺間室で発症し、重症呼吸不全患者または重症心不全患者に対して行われる生命維持法の医療機器であるECMO（extracorporeal membrane oxygenation）を使用し体外式膜型人工肺を行われる生命維持法の治療についても述べた。

私たち生活の中でも、個々の予防意識と自覚それは理解と知識が重要である。

新型コロナウイルス感染症は、呼吸器感染症である。口腔から感染し肺などの炎症を起こし重篤になる疾患である。人か人への感染経路として、飛沫感染などが挙げられ、手や皮膚などに付着する接触などがある。予防としてマスク着用や、手洗い・アルコール消毒がある。しかし、ここにも科学的な根拠があり理解と周りに対する拝領が必要である。

マスク一つでも細目に変え、十分な清潔なマスクを着用することである。一度使用すると、唾液・口腔内細胞や口腔内細菌によるマスクの汚染が挙げられる。環境により、マスクを放置するとカビなど増殖する。

手洗い・アルコール消毒でも石鹸など泡のある手洗いを行い可能なら2度行うことが望ましい。消毒液についても、アルコール度数75%で手もみして乾燥させる。政府は、アルコール不足による70%弱のアルコールを一時的対応で推奨した時期がある。アルコール消毒の重要なことは、乾燥したときに細菌やウイルスを死滅させることが目的である。手が濡れた時、手洗いから直ぐにアルコール消毒しても効果を失う知識が必要である。

換気についても、空気の対流が重要である。複数の人が外出時のマスク着用でない場合でも、空気の対流が悪いと飛沫感染などで感染する。室内など空気の対流が重要である。2020年本学栄養教諭学外

実習の学生指導時では、小学校の教室の中には、複数の扇風機数台を見かけた。学校施設として、夏場、空調機使用時の窓やドアを締め切ることが感染するため、窓やドアを開放し、扇風機数台により涼しくする説明を頂いた。冬も同様に空気の対流に務めている。空気の対流の特徴の一つは、熱い空気は上昇することであり、自然環境の中では起こり得ることである。この知識から、本学のマリアンホール（約700席の会場）などは、上部の窓があり時間を見計らって開放し、最上階の部屋を利用して、窓の開放から空気対流を行っている。

新型コロナウイルス感染症対策は時間が経過によりあらゆることが解ってきた。政府の密閉、密集、密接の「3密」回避など、一人ひとりの感染防止の取り組みが求めたが、時間が経つにつれ、このことが十分に理解せず希薄し、経済活動や生活活動による行動が多くみられ、今後の感染の波が繰り返し、迎えることになる。

電荷水飲用とレプトンガス吸入による血液学的データの変動について

Fluctuations of biochemical tests when drinking electric charged water and inhaling lepton gas.

山口貴也¹⁾, 安川明夫²⁾

Takaya YAMAGUCHI, Akio YASUKAWA

1) 山口醫院 2) 西荻動物病院・上石神井動物病院

1) Yamaguchi Clinic 2) Nisiogi Animal Hospital / kamisyakujii Animal Hospital

緒言

レプトンガスという酸水素ガスがあり、このガスを特殊な水流と圧をかける事で純粋に溶解させる事で電荷水が作られる。このガスの吸入と水の飲用で糖尿病やガンの改善を認めた症例を見て来た。今回この水の飲用と酸水素ガス吸入が血液、生化学的データに影響を及ぼすか検証する為に臨床研究を行った。その結果興味深い所見が得られたためその一部を発表する。

目的

一般に気体の水素は水への溶解は少なく開封後は効果が減退すると言われている。

密閉容器で無い物で保存した電荷水を飲用する事と酸水素ガスの吸入で血液・生化学的データに変化が見られるかを検証する。

方法

今回電荷水の製造会社の社員、関係者13人を対象としガス吸入と飲用開始前、開始後1ヶ月、3ヶ月後に血液・生化学的検査を行なった。ガスの吸入は週に3回以上、一回1時間以上とし、水の飲量は一日500ml以上とした。(採血項目はCBC・血糖・GOT・GPT・ γ GTP・LDH・BUN・Cre・総蛋白・アルブミン・CRP・hsCRP・Na・K・Ca・Cu・Zn・アミラーゼ・HDL・LDL・MDA-LDL・TG・フェリチン・sIL-2R)

開始前後の結果をスチューデントのT検定を行い有意差の有無を検討した。

結果

4人が吸入の頻度が少ないため脱落し9人による分析となった。新たな異常を認めた被験者はいなかった。MDA-LDLの有意な低下(95%両側検定 $p = 0.0384$) Kの有意な低下(95%両側検定 $p = 0.0110$) Znの有意な低下(95%両側検定 $p = 0.00288$)を認めた。有意ではなかったがCRPの低下hsCRPの低下も認めた。

当初の予定にはなかったがMDA-LDLとCRPと関連のある項目について相関分析を行った。

CRPとCu($r=0.82$ $p=0.000002$)とhsCRPとCu/Zn比($r=0.606$ $p=0.0075$)、hsCRPとCu/K比($r = 0.533$ $p=0.0225$)に相関を認めた。その他自覚症状の改善としてゴルフをカート無しで回れる様になった、緑内障の被験者が眼圧が下がった、認知症の症状が改善したという効果も見られた。

考察

レプトンガスの吸入によりMDA-LDLの低下が認められ、様々な症状の改善が認められた。

電荷水の引用のみの試験ではCRPの低下も認められたが、ガスとの併用ではCRPの低下は有意とはならなかった理由として今回の試験では高齢者が多く、疾患の治療中の方もいたためCRPの分散が大きかったためだと思われる。

また回帰分析ではCuとCu/Zn比にCRPの値に相関が見られた。Cu/Zn比は炎症マーカーとして使われておりZnとCRPには相関を認めなかった事よりCuが炎症と大きく関わると考えられる。DrRevic

の理論ではCuは細胞レベルでのCatabolicにZnは細胞レベルでのAnabolicに関わるとされている。Catabolicは炎症に関わるとされている。同様に細胞レベルでのAnabolicに関わるとされるKを見てもCu/K比とhsCRPで相関を認めた。血清のKが高いとCatabolicと言われており、KとZnが低下した事は、細胞レベルでのエネルギー代謝が改善した事を伺わせる。

レプトンガスをRO水に通すとpHがやや上昇し、生理食塩水に通すと酸に対する緩衝能が上がる。レプトンガスは従来の酸水素ガスとは異なった作用を

持つ事が推測され、K、Znの低下がその事を示唆すると思われる。

MDA-LDLは体内の酸化を表す指標として用いられており、高感度CRPは微弱な炎症を判定する指標として用いられている。酸化や炎症は様々な疾患の一因として捉えられておりこれらの数値の改善がこれまでレプトンガス吸引と電荷水飲用での症状改善の理由の一つと考えられる。引き続き長期の経過を見る事により疾患の予防、改善に繋がるか検討を行う。

水素による新型コロナウイルスの蔓延防止

木村公一

Koichi KIMURA

Zenphar 合同会社

今回の新型コロナウイルスによって引き起こされる肺炎や肺の繊維化による急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、慢性閉塞性肺疾患（COPD）などに対して、水素ガス吸入治療法の有効性が各方面で試されている。

中国ではいち早く水素・酸素混合ガス吸入が、新型コロナウイルスの肺炎の治療の承認を受け、各国においても採用の検討が始まっている。

中国の国立病院などを中心に治験がなされており、一定の効果をあげていると示された。

また我々の初期観察研究においても、水素ガス吸引によるテスト、水素ガスとフラバノール類との混合吸引のテストなどにおいて良好な結果がでている。そこで今後米国ハーバード大学医学部などと、日米共同でそれらの治験を行っていく予定である。

また、新型コロナウイルスワクチン接種によって起こっている副反応の問題も水素により解決される可能性がある。

ワクチン接種により、細胞より分泌されるインター

フェロンやインターロイキンが免疫細胞を活性化させサイトカインストームを引き起こすことがある。しかしながら、その因子を水素ガス吸引や水素水の摂水により活性酸素を中和することでアレルギー反応やアナフィラキシー、炎症等の副反応を抑制させる効果があると考えられている。

そして同時にワクチンによる抗体の産生を活性化する可能性がいくつかの研究とその論文により知られている。

これらの研究について、本学会で発表することにより、水素による理解、新型コロナウイルスの蔓延防止の一助となれば幸いです。

共同研究を行う予定の研究機関

Harvard University・MIT

米国国防総省研究機関

朝明精工株式会社

株式会社 JEMCO

雲南紅豆杉と光免疫誘導療法を用いたリンパ腫の猫の1例

A case of lymphoma in a cat treated with photoimmunotherapy combined with Yunnan red bean cedary

石井万寿美¹⁾，岡本芳晴²⁾，田村 裕³⁾

Masumi ISHII¹⁾, Yoshiharu OKAMOTO²⁾, Yutaka TAMURA³⁾

1) まねき猫ホスピタル 2) 鳥取大学 3) 千葉大学

1) Manekineko Hospital 2) Tottori University 3) Chiba University

はじめに

猫の鼻腔内や眼窩などの顔面に発生するリンパ腫は、臨床現場でよく見かけるがんとして知られている。一般的に猫のリンパ腫は、はじめはステロイド剤や抗がん剤に反応するが、1年以上生存する症例は少ないとされている。今回、光免疫誘導療法と雲南紅豆杉を煎じたものを噴霧する療法を併用したところ、1000日以上の寛解が得られているので紹介する。

臨床経過

症例：ネコ、去勢オス、13歳、6.65kg

治療と経過：他院で鼻腔内と眼窩のリンパ腫と診断された。飼い主は、通常の抗がん剤治療を希望しなかったために本院に転院された。本院ではステロイド剤も使用せず、光線免疫誘導療法と雲南紅豆杉を煎じたものをなるべく閉鎖空間で1日20分以上2回のネブライザーで噴霧、そして飲用してもらった。猫自身は、好んで飲用しなかったため、強制給餌も並行して行った。治療開始から約110病日で光免疫誘導療法5クール後寛解。現在、治療開始か

ら1000病日が経ち、抗がん剤不使用のまま、雲南紅豆杉を煎じて噴霧するなどを予防目的として行っているだけである。寛解後のSAAは3.8未満 $\mu\text{g/ml}$ 、N/L比が1.1などと炎症反応もなく元気で食欲もあり寛解が続いている。

考察

雲南紅豆杉は、人医療でがんの効果があるとして広く使われている。一方、獣医療では、がんに対しての効果はまだあまり知られていない。今回の猫のリンパ腫における雲南紅豆杉を煎じたものを噴霧することで、以前の光免疫誘導療法単独による症例よりも成績は良好である。そのため、光免疫誘導療法と雲南紅豆杉の噴霧には相乗効果があるのではと推測する。猫は嗜好性が狭く、がんで食欲が低下した場合でも、噴霧は負担が少なく治療が可能である。したがって、リンパ腫の治療には、光免疫治療法に雲南紅豆杉を煎じたものを噴霧する治療を併用することでQOLの改善等が期待される。

ゼロから始めた普通の動物病院の鍼灸治療

Acupuncture and moxibustion treatment in a normal veterinary hospital that started from scratch

田中大介

Daisuke TANAKA

牛久保東ペットクリニック

Ushikubohigashi pet clinic

動物病院における診療及び治療は西洋医学が中心に行われており、鍼灸などを含めた東洋医学、代替医療などはごく一部の病院でのみ行われている。当クリニックも西洋医学における標準的な治療を中心に診療を行なっている一次病院であるが、近年オゾン療法、レーザーなど代替療法などの治療も積極的に取り入れて始めた。比較統合医療学会において過去数回セミナーを受講し、鍼灸を診療に取り入れられることを視野に入れたときに、認定資格のコースを受講でき認識医の認定を得られた。今回、鍼灸初心者獣医師が診断、治療を行う上でより確実に成果を得られる方法と、鍼灸によって効果が認められた症例について発表する。

鍼灸をおこなうための患畜の選択

患畜疾病の選択

診察日の設定

治療時間の設定

このような事項を考慮した結果

オーナー様の負担軽減

情報の共有など

以上の結果をコミカルにシリアスに発表させていただきます。

アサイゲルマニウムの生理作用と作用メカニズム

Physiological Effects of Asaigermanium

島田康弘

Yasuhiro SHIMADA

株式会社 浅井ゲルマニウム研究所

Asai Germanium Research Institute Co., Ltd.

1. はじめに

Poly-*trans*-[(2-carboxyethyl) germasesquioxane] (アサイゲルマニウム、Ge-132 と呼ばれる) は抗炎症や疼痛抑制作用など様々な生理作用が報告されている水溶性有機ゲルマニウム化合物である。近年では、重要な生体内分子と相互作用することが明らかとなり、作用メカニズムに関する研究が進められている。本稿ではアサイゲルマニウムの生体成分との相互作用を介した生理作用とその作用メカニズムについて紹介する。

2. アサイゲルマニウム水解物“THGP”とその特徴

アサイゲルマニウムは水に溶解すると、3-(trihydroxygermyl) propanoic acid (THGP) を生成することから、水分に富む生体内ではTHGPまたはその塩として存在すると考えられている。我々はTHGPの持つ分子特性を調査し、水溶液中においてシスジオール構造やチオール構造を有する化合物と可逆的に相互作用することを明らかにした。前者の構造を有する生体成分にはATPやRNA、後者の構造を有するものには硫化水素 (H_2S) やシステインなどが存在し、それぞれ生体内において重要な役割を担っている。我々は、THGPとこれらの生体内分子との相互作用が及ぼす、生体反応への影響について検討を進めた。

3. ATPとの相互作用を介した抗炎症作用

細胞外ATPはP2X receptorを介したシグナル伝達により、炎症シグナルの要となるタンパク質複合

体インフラマソームを活性化し、炎症を引き起こすことが知られている。我々は、ヒト単球細胞THP-1をマクロファージ様に分化した細胞を用いてATP刺激によるインフラマソーム活性に対するTHGPの影響を検討し、THGPはATPと相互作用することでインフラマソーム活性およびそれに伴う炎症物質の産生を抑制することを明らかにした。

4. 硫化水素との相互作用を介した疼痛抑制作用

H_2S はT型 Ca^{2+} チャネル ($\text{Ca}_v3.2$) の活性化を介して痛みを発現することが知られており、内臓痛や熱傷による痛みに関与することが知られている。我々は、マウス後肢足底部に H_2S 刺激および熱刺激を与えた際に発生する機械的アロディニアの発現に対するTHGPの影響を検討した。その結果、THGPは H_2S と相互作用することで $\text{H}_2\text{S}/\text{Ca}_v3.2$ 系の活性化を抑制し、THGP用量依存的に機械的アロディニアを抑制することを明らかにした。

5. おわりに

本稿ではアサイゲルマニウムのユニークな反応性と生体反応への影響について紹介した。最近では、アサイゲルマニウムとは別の反応機序で生理作用を示す素材との併用により相乗作用を示すことも明らかとなっている。今後、さらなる科学的理解の進展と、その応用による健康の増進や生活の質の向上へのアプローチを進める。

有機ゲルマニウム化合物「アサイゲルマニウム」の有用性研究の紹介 ～医薬品開発時代の知見を中心に～

Introduction of usefulness research of organogermanium compound "Asaigermanium"
- Focus on evidence in the drug development era-

土井山爽太

Sota DOIYAMA

株式会社浅井ゲルマニウム研究所

Asai Germanium Research Institute Co., Ltd.

ゲルマニウム ($_{32}\text{Ge}$) は炭素族の元素であり、金属と非金属の中間の性質を示す「半金属」に分類される。ゲルマニウムは石炭中からの抽出方法を浅井ゲルマニウム研究所の創設者浅井一彦が見出し、ゲルマニウムは健康に寄与する成分であると考え、体内に取り入れても蓄積性のない水溶性有機ゲルマニウムの合成に着手した。その結果、1967年にアサイゲルマニウム (INN名: poly-*trans*-[(2-carboxyethyl)germasesquioxane]) の合成に成功し、数々の安全性試験を実施して非常に高い安全性も確認された。1970年代より、医薬品を目指して数々の臨床研究が行われ (治験成分記号: Ge-132)、免疫調整作用をはじめとして、骨代謝調整作用、抗炎症作用、赤血球代謝促進作用などの多機能性が確認されてきた。現在は多機能性という特徴を活かし、サプリメントの素材として利用されている。

本発表では1970年代より行われた医薬品開発時代のクリニカルレポートや論文を中心に、アサイゲルマニウムの有用性を紹介する。

① がんに対する有用性研究

アサイゲルマニウムは、マクロファージやNK細胞の活性化を誘導する interferon-gamma (IFN- γ) 産生能を向上することが確認されている。癌研究に

においても IFN- γ は重要とされ、実際に大学等の研究施設協力の下、動物試験では癌に対して複数の評価が行われた。その後臨床試験も複数の評価が行われ、特に切除不能肺癌に対しては東北・北海道地方の21施設により、臨床における有用性が評価された。本評価について、その結果概要を紹介する。

② 骨代謝に対する有用性研究

高齢期においてはホルモンバランスの乱れにより、骨粗鬆症の頻度が上昇することが知られている。アサイゲルマニウムは、基礎試験により破骨細胞分化抑制、副甲状腺ホルモン (PTH) 分泌抑制、骨強度の増加などが報告された。その後東京大学の折茂らにより老人性骨粗鬆症患者に対して臨床評価が実施された。その結果概要を紹介する。

③ 関節リウマチに対する有用性研究

関節リウマチに代表される自己免疫疾患は、免疫系の異常により自己組織を抗原と認識することで起こる疾患である。アサイゲルマニウムは先述の通り免疫調整作用がある。そこでアジュバント関節炎モデルを用いて評価を行ったところ、関節の変形を抑えるなど一定の効果を確認した。その後、東海大学の有森らにより関節リウマチ患者を対象とした臨床評価が行われたが、その結果概要を紹介する。

聞き手に θ 波（脳波）が発現するとされる歌手の歌声の 実際の脳波変動に関する考察

Consideration of a singer who so called θ wave singer's singing voice is actual effect to brain waves.

山口貴也

Takaya YAMAGUCHI

山口醫院

Yamaguchi Clinic

緒言

音楽や自然音が人の気分や体調に影響が出る事は太古より言われ、治療として用いられてきた。当学会員よりの情報で聞くと脳波にシータ波が出ると言われる歌手（以下S）がいる事と、これまでCDで繰り返し聞く事で治癒が起きている事を知った。今回実際に脳波に影響が出るのかを検証したのでその結果を報告する。

目的

著者は以前にヒーリング音楽を聴く事で副交感神経と交感神経の比が副交感神経優位に増強する事を当学会において報告した。前段階での試験で音楽にはリズムがあり副交感神経と同時に交感神経が刺激された経験より、歌声で徐派のシータが出る事や副交感神経優位にする事は難しいと考えてきた。しかしその考えを覆す事例に触れ、事実か検証をする。

方法

Sに広く国民に認知されている曲を二つ歌いCDへ収録して頂いた。比較対象として同曲を他の歌手が歌った物を1曲ずつ選んだ。9名の被験者を個別にオットマン付きの椅子に閉眼で座り、脳波の簡易測定器Museを装着し、同時に自律神経の指標として脈波測定器を手指に装着し少し時間をおいた後、脳波とHRVを約5分測定。その後始めに「夏の思い出」を2曲、後に「千の風」を2曲CDプレーヤーにより再生をした。各楽曲を聴いている時の脳波、「千

の風」を聴いている時のHRVを測定し交感神経と副交感神経の比とされるLF/HFを楽曲ごとに集計しスチューデントのt検定を行った。脳波はFFT解析により各周波数帯毎のパワーと β 波のパワーと各周波数帯との比を算出した。各楽曲毎にデータを集計しスチューデントのt検定を行なった。

結果

9人中2名の千の風比較対象のHRVがデータ採取が不可であった。

「夏の思い出」は有意差が出なかったが平均の差は歌手の違いにより現れた。

「千の風」はシータ波のパワースペクトルにて増加をしていたが有意差を認めず、ガンマ波のパワースペクトルで増加し有意差を認めた。(95%両側検定 $p = 0.0466$)

HRVでは「千の風」において対象の歌手がLF/HF比が開始前と比較し有意に低下していた。(95%片側検定 $p = 0.0439$) 比較対象の歌手との比較でも有意に低下していた。(95%片側検定 $p = 0.0263$)

考察

千の風ではSの歌声を聞く事でシータ波が聞く前と比較し増加していたが有意差はなかった。ガンマ波については有意な差が認められた。同曲を他の歌手が歌った物では有意差を認めなかった。ガンマ波はストレス状態にある時に出るとされていたが、最近瞑想等で集中している時やスポーツ選手が良い集

中状態にある時に出ると言われている。またガンマ波が出る事で脳内のアミロイドタンパクが分解されるという報告もある。自律神経は副交感神経を有意にしたという結果が出たが、歌詞を伴う曲のテンポでは交感神経優位になるとされているが、今回これを覆す結果が見られた。

副交感神経優位にする事は被験者の緊張が解けている事を示すがガンマ波は良い集中状態に出ると言われており単純に緊張が解けているのとは異なる事

が示唆される。これがこの歌手の声によりいくつもの病気が治って来た事と関連があると考えられる。

夏の思い出ではSも比較対象とも有意な変化は認めなかったが、Sではシータ波、デルタ波共にパワースペクトルが比較対象に比べ低下していた。Sはその楽曲の持つ特徴を増幅させる可能性も考慮する必要がある。デルタ波の身体への影響はまだ解明されていない部分が多い。今後デルタ波が出現した時の体の変化についても検証が望まれる。

新型コロナウイルスワクチン接種者が与える非接種者への影響

Impact of covid19 vaccinated people on non-vaccinated people

小林敏生¹⁾，龍見 昇²⁾，鈴木陽子³⁾，黒木映理佳¹⁾，澤田千江美⁴⁾，針谷純子¹⁾

Toshio KOBAYASHI¹⁾，Noboru TATSUMI²⁾，Yoko SUZUKI³⁾，Erica KUROKI¹⁾，Chiemi SAWADA⁴⁾，Junko HARIYA¹⁾

1) Binsei Natural Healing 2) NOVO Clinic院長 3) NPO 法人抗加齢普及協会理事 4) 頭蓋仙骨療法ナパチヨ

概要

全世界で、感染力の強いcovid19による感染者数の増加が問題となる中、新型コロナウイルスワクチン（以下ワクチンに省略）の接種が医療従事者から始まった。

そして先進諸国でワクチン接種率が上がるにつれて、接種者のワクチンによる副作用とは別に、ワクチンを打った接種者の近くにいた後に、ワクチンを打っていない非接種者に不正出血や倦怠感等様々な体調不良が現れるという声が聞かれるようになった。海外ではこれを（＝transmission トランスミッション）と言っている。現在我々はTransmissionの訳語である「伝播」という単語を用い、この現象を伝播感染と表現している。

そこで、先進諸国から数ヶ月遅れてコロナワクチンの接種が始まった日本でも、伝播感染と呼ばれるようになったこの現象が、「どの程度社会で認知されているのか」、そしてまた「どんなことが実際に起こってきているのか」、についても調査を行った。

方法

Clubhouseという音声ミーティングツールのなかで、ナチュロパス（自然療法士）の立場から統合医療の知識や最新の情報等を発信する「治ってなんぼの自然療法」という*1ルーム内で、今重要な健康情報を平日毎朝提供している。

結果

結果を[表1]にまとめた。多くの方に起きた

事象は、強い眠気、だるさ、咽頭痛、湿疹などで、潜在的な病気、ヘルペスやリュウマチの悪化などの回答もあった。女性においては不正出血というケースがよく見られた。又接種者から伝播した方からさらに伝播しているケースやペットに伝播するケースもあった。

考察

過去に、おたふく等弱毒化したワクチンで、感染拡大が知られているが、今回のコロナワクチンの場合、違う症状が出る。このことが今回のリサーチで確認された。尚、我々のリスナーには、ワクチンを打たないと決めている方が多く、各々のリスナー自らリサーチしており、予め被害に対するある程度の知識があった。一般的な国民においては、事前の知識なしにワクチン接種者からの伝播感染の可能性については、気付きにくく、被害が長引くことが懸念される。リスナーの方に伝播感染で流産をしたセラピストもいた。生殖に関する問題では、こう言った被害を予知するような記述が、ファイザーの添付文書のp67にもある[*2]。今回パイロットテストを踏まえて、アンケート方式で同様の問題のリサーチ[*3]を龍見 昇先生が行っている。伝播感染については、科学的解明はまだなされていない事象だが、現実には罹患者と考えられるワクチン非接種者が存在しており、筆者も直接確している明確な現象です。

[表1] 伝播感染被害ウェブアンケート調査			
アンケート実施日	2021/08/11	発熱	7
伝播を知らない	9	湿疹	29
伝播を知っている	46	麻疹	12
伝播の症状を繰り返す	27	あざ	6
頭痛	27	指先の疼痛	6
めまい	10	リウマチ、関節痛	4
イライラ、怒りっぽい	14	PMS様の乳房の痛み	9
認知症の悪化	5	不正出血	11
強い眠気	38	生理周期の狂い	8
だるさ、倦怠感	27	卵巣などの下腹部痛	16
不登校	0	流産	1
目が痛む	20	膀胱炎	2
咽頭痛	37	下痢	22
鼻の奥、後頭部	8	左側の腰痛	7
接種者の臭気	13	筋肉痛	11
鼻血	15	足がつる	8
口内炎、ヘルペス	8	ペットの体調不良	2

参考文献

- [*1] ルーム：Clubhouse内に作れる場所の呼称。まずはそこでのリスナーに問いかけ、実態の調査を行った。2021年8月11日のリスナー約180名の中で、46名が伝播感染を知っていると答え、その中で、どんな症状が起きたかを複数回答可として質問した。
- [*2] 新型コロナワクチン接種者からの伝播症状アンケート結果 https://media.tghn.org/medialibrary/2020/11/C4591001_Clinical_Protocol_Nov2020_Pfizer_BioNTech.pdf
- [*3] 新型コロナワクチン接種者からの伝播症状アンケート結果 https://note.com/novo_clinic/n/n941867a8e9b0

高濃度オゾン水を利用した鼻腔洗浄による、 味覚・嗅覚神経細胞保護の臨床的検討

Clinical study of taste and smell nerve cell protection by nasal lavage using
high-concentration ozone water

鈴木宏典¹⁾，渡辺 遼¹⁾，安川明男²⁾

Hironori SUZUKI, Ryo WATANABE, Akio YASUKAWA

1) 株式会社サイエンティフィックケアマネジメント 2) 西荻動物病院・上石神井動物病院

新型コロナウイルス感染症は、とどまるところを知らない勢いで、世界各地で猛威をふるっています。ワクチン至上主義で進めてきた国々でも、感染者が極端な減少は見ることができず、早々に治療薬や代替療法の確立が求められている。

オゾンは歴史的に、ヨーロッパ・ロシア・キューバなどで癌治療や感染症治療に、保険適応されているメジャーな治療方法となっている。オゾンガス自体は、簡易に空気中のウイルスの膜を破壊し不活性化させるが、その濃度管理が難しく人体に悪影響が懸念される。我が邦では、工業的に空間除菌での利用が進んでいるが、生体に対しての利用は、一部を除いて、進んでいない。その理由として、水溶性の技術及び保存性の難しさも起因している。そこで、コロナ禍における、高濃度オゾン水による臨床的可能性の報告をする。

コロナ感染症においては、昨今感染直後から口腔内は、ウイルスが増殖する環境となっているという論文が発表されている。また、特徴的な症状の一つで味覚嗅覚異常に関しては、コロナ感染症が世界的

に広がりを見せた初期から研究者によって、ウイルスの体内に取り込みにACE受容体に関係していることが、突き止められている。そこで、適切に鼻腔内を、十分なウイルス不活性が可能なオゾン水濃度で洗浄することの効果を少数ながら検討した。事前調査では、エジンバラ大学で食塩水約8%を用いることでコロナ感染症予防効果が認められたという研究発表があった。

口腔内の水歯磨きとして販売している、SHINZENBIをPCR検査陽性となった自宅療養の患者4例（内、味覚嗅覚障害が現れた患者3例）に対し、水及びミネラルウォーターで20倍に希釈し、スポイト及び鼻腔洗浄容器を用いて左右の洗浄1日数回実施したところ、PCR陰性時点で味覚・嗅覚異常の症状が見られなかった。今回は患者の経験ベースでの報告となるが、コロナ感染症の治療を考える上で後遺症を残さないという観点から、薬物治療と並行して、補助的な鼻腔洗浄の有用性を報告した。患者の予後のQOLを維持するために重要であると考ええる。

露地栽培アガリクスKA21 含有食品の創傷治癒促進作用・抗がん剤の副作用軽減作用に対するアンケート結果

Veterinarian survey on the effects of outdoor cultivated *Agaricus brasiliensis* KA21 on wound repair after surgery and against the side effects caused by anti-cancer drugs in dogs and cats.

北原淳子¹⁾，元井章智^{1) 2)}，山中大輔²⁾，安達禎之²⁾，田原口智士³⁾

Junko KITAHARA¹⁾，Akitomo MOTOI^{1) 2)}，Daisuke YAMANAKA²⁾，Yoshiyuki ADACHI²⁾，Satoshi TAHARAGUCHI³⁾

1) 東栄新薬株式会社 2) 東京薬科大学薬学部免疫学教室 3) 麻布大学獣医学部微生物学研究室

1) Toei Shinyaku Co.,Ltd. 2) Laboratory for Immunopharmacology of Microbial Products, School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences 3) Department of Veterinary Medicine, Laboratory of Microbiology 2, School of Veterinary Medicine, Azabu University

アガリクスとはブラジル原産の薬用茸であり、産地や栽培方法によって含有成分などが大きく異なるといった特長がある。露地栽培したアガリクスと一般的なハウス栽培アガリクスの含有成分を比較すると、露地栽培には β -グルカンやビタミンDが多いことが確認されており、抗酸化活性も強力であることが確認されている。

これまでブラジルで露地栽培されたアガリクス(KA21株)に関しては、創傷治癒促進作用および、抗がん剤の副作用軽減作用が確認されている。今

回、術後および抗がん剤を使用してるイヌ、ネコを対象に露地栽培アガリクスKA21含有食品を臨床試用し、獣医師の満足度調査を行った。その結果、アガリクスKA21含有製品を飲用できたケースでは、術後の創傷治癒促進作用に関しては満足以上88.7% (n=53)、抗がん剤の副作用軽減効果に関しては満足以上79.2% (n=24) といった結果となった。これらの結果から、露地栽培アガリクスKA21含有製品の手術後、外傷後の早期回復用、抗がん剤治療のサポート用サプリメントとしての活用が期待される。

露地栽培アガリクス KA21 の真菌感染症に罹患した イヌ、ネコに対する臨床試験結果

Anti-fungal infection effect of outdoor cultivated *Agaricus brasiliensis* KA21
in dogs and cats.

元井章智^{1) 2)}，北原淳子¹⁾，山中大輔²⁾，安達禎之²⁾，田原口智士³⁾

Akitomo MOTOI^{1) 2)}，Junko KITAHARA¹⁾，Daisuke YAMANAKA²⁾，Yoshiyuki ADACHI²⁾，Satoshi TAHARAGUCHI³⁾

1) 東栄新薬株式会社，2) 東京薬科大学薬学部免疫学教室，3) 麻布大学獣医学部微生物学研究室³

1) Toei Shinyaku Co., Ltd. 2) Laboratory for Immunopharmacology of Microbial Products, School of Pharmacy, Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences 3) Department of Veterinary Medicine, Laboratory of Microbiology 2, School of Veterinary Medicine, Azabu University

アガリクスとは、ブラジル原産の薬用キノコの1種であり、産地、栽培方法などにより有効性・安全性が大きく異なる。これまでブラジルで露地栽培されたアガリクス (KA21 株) に関しては、ヒト臨床試験で自然免疫系のナチュラルキラー細胞の活性化、獲得免疫系として真菌由来の β グルカンに対する抗体価の上昇作用が確認されている。今回、マラセチアおよび皮膚糸状菌症などの真菌感染症に罹患しているイヌ、ネコを対象に露地栽培アガリクス KA21 含有食品の臨床試験を行い、獣医師の満足度および、摂取前後で臨床症状を比較した。(24施設56例)

その結果、真菌感染症全般として、満足以上と回答した獣医師は82.1%で、全般的な健康度の目安である活動量、食餌量ともに摂取前後で有意な改善が確認された。マラセチア性皮膚炎に対して満足以上

と回答した獣医師は85%で、症状として痒み、発赤、鱗屑、脂漏、脱毛全ての項目において有意な改善が確認された。マラセチア性外耳炎に対して、満足以上と回答した獣医師の割合は81.8%で、症状として痒み、発赤、耳垢、脂漏(臭い)、脱毛全ての項目において有意な改善が確認された。皮膚糸状菌症に対して、満足以上と回答した獣医師の割合は78.5%で、症状としては、鱗屑に関しては改善傾向が確認され、痒み、発赤、脱毛に関しては有意な改善が確認された。

これらの結果から、露地栽培アガリクス (KA21 株) の摂取により、マラセチアや皮膚糸状菌症などの真菌感染症に対して、再発予防作用が期待されるほか、罹患している場合には一般的な治療と併せて利用することで、治療効果を高め、治癒を早める作用が期待される。

第64回 一般財団法人比較統合医療学会学術大会 協賛企業一覧

六基食品株式会社

株式会社プロ・アクティブ

東栄新薬株式会社

ZenPhar 合同会社

株式会社TAMAX

有限会社ペット パティース ジャパン

フォトンライフ株式会社

(順不同)

世紀を超える、太古の生命力—

紅豆杉

こうとうすぎ

紅豆杉エキス粒

定価:87,480円(税込)

紅豆杉150g

定価:25,920円(税込)

紅豆杉

定価:10,368円(税込)

株式会社紅豆杉代理店

六基食品株式会社

〒大阪市中央区瓦町4-7-6 船場竹伊ビル4F
TEL 06-6201-2336 FAX 06-4707-4003
web <http://rocky-foods.co.jp>
mail info@rocky-foods.co.jp

web



mail



健康で明るい毎日のために…
安心・安全・快適なみなさまの暮らしを目指して…

OZONE



オゾン水生成器

手洗い名人



濃度計付多目的オゾン発生器

OZONE-V

Light

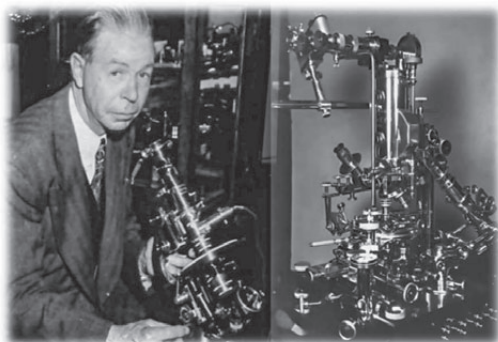


多目的キセノン光発光装置

Ultra Photonic Balancer

TAMAX Inc.

株式会社 TAMAX 名古屋市中川区八熊通 5-34 TEL 052-352-3888 <http://www.tamax.info>



是非、体感を下さい



ライフ博士を目指して
25年！結果を出すの
が目的です。

他社にはまねできない体感
小型軽量の進化・高性能・低価格

◎お問い合わせは◎

フotonライフ株式会社
東京都豊島区高田1-36-14第3新日本マンション503号
TEL : 03-5904-8500
mail : photonlife214@gmail.com

✿ホームページ は大幅なりニューアル中です✿



一般財団法人 比較統合医療学会

(事務局) 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-9-19 TEL: 03-5915-5308 FAX: 03-5915-5319
E-mail: info@scim.jp <http://scimha-japan.org/>